

## 2019年2月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 第28回ハバナ国際図書展の開催
- (2) 新憲法に係る国民投票の実施
- (3) 軍用機の墜落事故

#### 2 外交

- (1) モラレス・ボリビア大統領の訪問
- (2) マカモ・モザンビーク国民議会議長の訪問
- (3) 防衛分野に対するロシアからの融資
- (4) デービッド・グレナダ外務大臣の訪問
- (5) パーニー・ラオス国民議会議長の訪問
- (6) メルロ・イタリア外務・国際協力省次官の訪問
- (7) 米国による対ベネズエラ決議案提出に係る動きへの批判
- (8) ベネズエラに対する軍事介入への反対表明
- (9) チャールズ英皇太子のキューバ訪問の公式発表
- (10) 米大統領によるベネズエラ情勢に係る演説に対する批判
- (11) キューバの新憲法国民投票に対する米国による批判に係る外務省声明

#### 3 要人往来

- (1) 来訪
- (2) 往訪

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) 第28回ハバナ国際図書展の開催

2月7日、第28回ハバナ国際図書展が開会され、ディアスカネル国家評議会議長が挨拶した。期間中、在メキシコ日系人和太鼓グループによる和太鼓公演が実施された。

- (2) 新憲法に係る国民投票の実施

2月24日、新憲法に係る国民投票が実施された。2月28日、全国選挙委員会 は最終結果を以下のとおり公表した。

- ・有権者数：8,705,723人
- ・投票者数：7,848,343人（有権者の90.15%）
- ・賛成票数：6,816,169票（投票者の86.85%、有権者の78.30%）
- ・反対票数：706,400票（投票者の9.00%、有権者の8.11%）

- ・ 白票数： 198,674票（投票者の 2.53%）
- ・ 無効票数： 127,100票（投票者の 1.62%）

### （3）軍用機の墜落事故

2月26日午前、アルテミサ県グイラ・デ・メレナ市郊外で、戦闘訓練を行っていた革命空軍のミグ21型機が、技術的な問題のため地上に墜落した。

## 2 外交

### （1）モラレス・ボリビア大統領の訪問

1月31日夜、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、国連本部で開催される「国際先住民言語年」記念式典に出席するためニューヨークに向かう途次、乗り換えのためにハバナに立ち寄ったモラレス・ボリビア大統領を出迎えた。会談で、両首脳は素晴らしい状態にある二国間関係及びさらなる強化への見通しを祝した。同時に、中南米地域における最近の出来事について意見交換し、ベネズエラ及びマドゥーロ同大統領への変わらない連帯を繰り返し、ラテンアメリカ・カリブ平和地域宣言の原則を遵守する必要性について一致した。また、モラレス大統領は、ハバナを襲った竜巻による人的・深刻な物的被害及びヘルムズ・バートン法第三章の発効に関し、連帯を強調した。

### （2）マカモ・モザンビーク国民議会議長の訪問

2月5日、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、マカモ・モザンビーク国民議会議長と革命宮殿で会談した。マカモ議長は、キューバ訪問の重要性を強調するとともに、ハバナ県内の複数の市を襲った竜巻の犠牲者に対する連帯の意を表した。マカモ議長からニュシ・モザンビーク大統領からの言葉を伝えると、ディアスカネル議長は同大統領への伝言をマカモ議長に依頼するとともに、両国の政治的結びつき及び連帯を強調した。ディアスカネル議長は、米国による対キューバ経済制裁への闘いに対するモザンビークからの支持に謝意を示すとともに、アフリカ諸国、特にモザンビークとの関係を重要視していると述べた。

### （3）防衛分野に対するロシアからの融資

2月6日付スペイン通信社EFEホームページによれば、6日、Yuri Borisovロシア副首相は、防衛分野の「持続可能な開発」のため、ロシアがキューバに対し38百万ユーロの融資を決定し署名したと発表した。同副首相はインターファクス通信に対し「合意に達し、書類は署名された。利息、支払い日程、支払い時の使用通貨などは、キューバと協議し決定された」と話した。

### （4）デービッド・グレナダ外務大臣の訪問

2月9日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、ピーター・デービット・グレナダ外務大臣と会談した。両外相は良好な二国間関係について対話し、協力関係を引き

続き強化し、経済・貿易関係の推進に対する相互の関心を再確認した。同時に、両外相は国際情勢についても意見交換した。

#### (5) パーニー・ラオス国民議会議長の訪問

2月13日、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、革命宮殿にて、キューバを公式訪問中のパーニー・ラオス国民議会議長の表敬を受けた。パーニー議長からハバナを襲った竜巻の被災者への連帯を表明するとともに、昨年11月にビエンチャンにおけるディアスカネル議長との会談が極めて重要であったと評価した。ディアスカネル議長は、米国による経済制裁への闘いに対するラオスからの支持に対して謝意を表するとともに、改正憲法の作成過程に関して概説した。また、ディアスカネル議長はブンニャン・ヴォーラチット国家主席へのメッセージ及びラオス訪問時の温かい歓迎への謝意の伝達を依頼した。

#### (6) メルロ・イタリア外務・国際協力省次官の訪問

2月13日、メルロ・イタリア外務・国際協力省次官は、第5回両国外務省間政策対話に出席するため、キューバを訪問した。2月14日、メルロ次官は、メディアーナ外務第一次官とともに、第5回政策対話の議長を務めた。同対話では、両国の良好な関係を強調するとともに、経済・貿易、文化、協力といった分野での可能性を確認した上で、引き続き二国間関係を強化していく意志を有することで一致した。また、地域内及び多国間の課題についても意見交換した。同日、メルロ次官は、ロドリゲス外務大臣を表敬した。両者は良好な二国間関係を強調するとともに、政治・外交、経済、貿易、文化、協力関係の強化を継続する意志を表明し、現在の国際情勢についても意見交換を行った。また同日、メルロ次官は、カブリサス閣僚評議会副議長を表敬した。友好的な雰囲気の中で、両者は二国間関係の順調な進展について意見交換するとともに、政治、経済・貿易、協力関係を引き続き拡大・深化していく相互の意志を表明し、様々な国際情勢についても対話した。メルロ次官のキューバ滞在中に、キューバ文化省との協力協定への署名が実施されるとともに、イタリア開発協力機構及びイタリア貿易促進機構のキューバ事務所の開設が行われた。

#### (7) 米国による対ベネズエラ決議案提出に係る動きへの批判

2月13日、キューバ外務省ホームページは、国連安保理における米国による対ベネズエラ決議案提出に係る動きを批判する記事を掲載した。

#### (8) ベネズエラに対する軍事介入への反対表明

2月14日、キューバ外務省ホームページは、ベネズエラに対する軍事介入を強く非難するキューバ政府の声明を掲載した。米国政府によるベネズエラに対する「人道的介入」を装った軍事介入に向けた圧力を非難するとし、国際社会に対して軍事介入への反対運動を起こすよう呼びかけた。また、マドゥーロ大統領及びベネ

ズエラ国民への変わらぬ連帯を繰り返すとともに、世界中の全ての政府及び国民に対し、ラテンアメリカ・カリブ地域への帝国主義的軍事介入を阻止し平和を守るためこの動きに一致して反対することを呼びかけた。

(9) チャールズ英皇太子のキューバ訪問の公式発表

2月15日、英国王室ホームページは、チャールズ英皇太子及び同夫人のキューバを含めたカリブ諸国歴訪に関する報道発表を掲載した。チャールズ皇太子及び同夫人は3月24日にキューバに到着し、ホセ・マルティ像への献花、キューバの青年企業家との会合、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長との会談及び同議長主催夕食会、英国クラシックカー所有者グループとの会合、ダンス・スタジオへの訪問、環境保全に関する円卓会議への出席等が実施されると発表された。

(10) 米大統領によるベネズエラ情勢に係る演説に対する批判

2月19日、ロドリゲス外務大臣は記者会見を外務省講堂において実施し、トランプ米大統領が18日にフロリダで実施したベネズエラ情勢に係る演説を非難した。キューバ政府は人道的理由を用いた米国のベネズエラへの軍事介入を非難する、米国による軍事介入の準備が継続されているが、人道支援の名の下のベネズエラへの軍事介入は国際法と矛盾する、米国は国連安全保障理事会理事国に対し軍事介入の前段となる決議が達成されるよう圧力をかけており、キューバは理事国に国際法に従い行動するよう呼びかける、トランプ大統領の昨日の演説には驚愕した、キューバがベネズエラに私的な軍隊 (ejercito privado) を維持していると非難するのは卑劣 (infame) でありキューバはこの誹謗を最も強い言葉で拒絶するとともに、医療、教育他の分野での協力の提供という義務と約束を再確認する、社会主義を築き擁護すると決めた我々に対するトランプ大統領の威嚇の試みを断固として拒絶する、トランプ大統領の演説は非常に選挙を意識したもの (electoral) である、キューバの将来がマイアミにあるとトランプ大統領が述べたが誤りである等述べた。

(11) キューバの新憲法国民投票に対する米国による批判に係る外務省声明

2月26日、キューバ外務省は、24日に実施された憲法改正に係る国民投票を強く批判するポンペオ米國務長官名の声明を拒否する旨の声明を発表した。

### 3 要人往来

(1) 来訪

モラレス・ボリビア大統領

マカモ・モザンビーク国民議会議長

デービッド・グレナダ外務大臣

パーニー・ラオス国民議会議長

メルロ・イタリア外務・国際協力省次官

チトフ・ロシア外務第一次官

(2) 往訪

ゴンサレス情報通信省第一次官のインド訪問

マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のカタール及びアルジェリア訪問